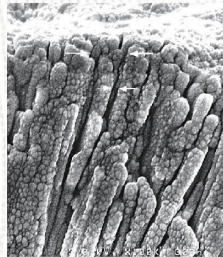


3

エナメル質ってなに？

歯の美と健康をきめるのは、表面のエナメル質です。エナメル質は、無数のハイドロキシアパタイトの結晶が規則正しく並んだ半透明の組織。そのすぐ下にある象牙質の黄白色が透けて、複雑な反射をして白く透き通って見えています。でもよく見ると、決してまっ白ではありません。歯の色は、個人によってさまざまです。その人の顔の色や年齢にあった歯の色が一番自然に見えます。食べ物をかみ切ったり、かみ砕いたりするために、エナメル質はカラダの中でもっとも硬く出来ています。といっても、実は意外とデリケートなんです。

たとえば、強すぎる歯みがき(ブラッシング)や上下の歯の強いかみしめ・歯ざしりで、キズついたりすり減ったりします。また、歯は酸によってミネラル成分が溶けだし、常にダメージを受けています。そうすると、歯の表面はくもったり、せっかくの透明感と輝きを失います。



エナメル質の結晶
(電子顕微鏡×10万倍)

舌でさわって滑らかに感じる歯の表面には、実はたくさんの目に見えない小さなキズがついています。その小さなキズはむし歯ではありませんが、増えてしまうと、むし歯の原因菌(ミュータンス菌)などがつきやすくなり、むし歯の原因になることもあります。また茶渋やタバコのヤニなどもつきやすくなり、着色汚れの原因ともなります。

このように美しく強い歯と健康には、深いかわりがあります。
まずは、清潔で健康で輝く歯であることが、ステキな笑顔の基本なんです。

